



いい汗流そう 春・ウォーキング開催

3/21[Thu]



▲ガイドの話に熱心に耳を傾ける参加者

日々の健康と多久の魅力を再発見することを目的に、“春・ウォーキング”(主催：多久スポーツピア)が開催され、市内外から18人が参加しました。

ウォーキングは、約4kmの龍孫の郷コースを3時間かけてゆっくりと巡り、途中には秀島天徳堂に立ち寄り、多久まんじゅうとお茶を味わいました。

小雨がぱらつくなかでしたが、参加者は「毎年コースが変わるので楽しみにしています。多久にずっと住んでいますが、ガイドの丁寧な解説で、より多久に愛着が湧きます。」と笑顔で話し、爽やかな汗を流していました。

華麗に彩られた西多久の春 竹と灯とおひな様

3/30 [Sat]~ 4/3 [Wed]

竹と灯とおひな様(主催：西多久町女性学級・地域おこし協力隊)が、くど造り民家の市重要文化財「森家住宅」と国重要文化財「川打家住宅」で開催されました。

今回は“竹”にスポットを当て、会場内を船山で採れた約100本の竹や可愛らしいおひな様で、幻想的な空間が作りだされていました。

また、期間中には、おひな様作り体験や新鮮野菜などが販売された「ファーマーズマーケット」、琴の演奏会なども行われ、約600人が来場。来場者は「昨年より一層綺麗に飾られて、感動しました。来年も必ず行きたい。」と笑顔で話されました。



▲御殿雛に見入る来場者

元気いっぱい新1年生 義務教育学校3校で入学式

4/11[Thu]



▲新1年生は在校生と手をつなぎ、花のアーチをくぐって入場

市内義務教育学校3校で入学式が行われ、中央校104人、東部校32人、西溪校28人の新1年生が入学しました。

西溪校では、川崎朗校長が式辞で「新入生のみなさん、元気いっぱいのあいさつを自分から先に、元気な声でしましょう。笑顔でお友達と接し、ありがとう、ごめんなさいなど、気持ちが温かくなるような言葉を言えるにしましょう」と述べられると、新1年生が「はい!」と元気いっぱいに答える様子に、場内から温かな拍手が送られていました。